

安心と快適をもたらす先進の安全運転支援システム、Honda SENSING。

事故を減らしたい。その思いから開発された世界初の追突軽減ブレーキ*は、運転支援機能アダプティブ・クルーズ・コントロールや車線維持支援システムなどと融合し、先進の安全運転支援システム「Honda SENSING (ホンダ センシング)」を誕生させました。いつの時代も、Hondaの一番の願いは

みんなの安全。運転負担を軽減し、万一のときには衝突回避や被害軽減を支援するHonda SENSINGが、毎日の運転に安心と快適をもたらします。



衝突軽減ブレーキ(CMBS)

車両や歩行者、自転車を検知し、衝突の危険がある場合に音とマルチインフォメーション・ディスプレイの表示で警告します。緊急時には、強いブレーキをかけて、停止または減速することにより衝突回避・被害軽減を支援します。



誤発進抑制機能

前方に障害物があるにも関わらずアクセルペダルを踏み込んだ際、パワーシステム出力を抑制して急発進を音とマルチインフォメーション・ディスプレイの表示で警告します。



後方誤発進抑制機能

後方に障害物があるにも関わらずアクセルペダルを踏み込んだ際、パワーシステム出力を抑制して急発進を音とマルチインフォメーション・ディスプレイの表示で警告します。



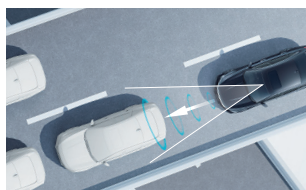
歩行者事故低減ステアリング

約10km/h～約40km/hで走行中に車線を外れ、路側帯の歩行者と衝突しそうな際、音とマルチインフォメーション・ディスプレイの表示で警告します。ステアリングも抑制して回避操作を支援します。



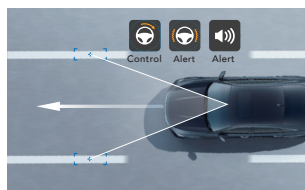
路外逸脱抑制機能

車線をはみ出しそうな際、マルチインフォメーション・ディスプレイとステアリング振動で警告し、さらに自車を車線、道路内へ戻すようにステアリングを抑制して回避操作を支援します。



渋滞追従機能付アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)

先行車がない場合は設定した車速を自動で維持し、先行車がいる場合は自動で加減速をし、適切な車間距離を保つよう支援します。先行車が停車すれば合わせて停車する渋滞追従機能も付いています。



車線維持支援システム(LKAS)

高速道路など、中・高速走行時、車線の中央に沿って走れるようにステアリング操作をアシストします。車線を外れそうの際には、マルチインフォメーション・ディスプレイの表示とステアリング振動で注意を喚起します。



先行車発進お知らせ機能

先行車が発進したことを、音とマルチインフォメーション・ディスプレイの表示でお知らせします。



標識認識機能

走行中に道路標識を認識してヘッドアップディスプレイとマルチインフォメーション・ディスプレイに表示します。



オートハイビーム

先行車や、対向車を検出してハイ/ロービームを自動で切り替えます。良好な視界の確保に貢献するとともに、切り替え操作の頻度も低減します。

■Honda SENSINGは、ドライバーの運転支援機能のため、各機能の能力(認識能力・制御能力)には限界があります。各機能の能力を過信せず、つねに周囲の状況に気をつけ、安全運転をお願いします。

車両をご使用になる前に必ず取扱説明書をお読みください。各システムは、いずれも道路状況、天候状況、車両状態等によっては、作動しない場合や十分に性能を発揮できない場合があります。 ■衝突軽減ブレーキ(CMBS)は、約5km/h以上で走行中に自車との速度差が約5km/h以上ある先行車や歩行者、移動する自転車または対向車に対して衝突するおそれがあるシステムが判断した場合に作動し、停止または減速することにより衝突回避や衝突被害の軽減を支援します。対向車と歩行者、移動する自転車に対しては、自車が約100km/h以下で走行中の場合に作動します。 ■誤発進抑制機能は、停車時や約10km/h以下で走行しているとき、自車のほぼ真正面の近距離に壁などの障害物があるにもかかわらず、アクセルペダルを踏み込んだ場合に、エンジンやモーターなどのパワーシステム出力を抑制し、急な後退を防止します。 ■後方誤発進抑制機能は、停車時や約10km/h以下で後退しているとき、自車のほぼ真後ろの近距離に壁などの障害物があるにもかかわらず、アクセルペダルを踏み込んだ場合に、エンジンやモーターなどのパワーシステム出力を抑制し、急な後退を防止します。 ■歩行者事故低減ステアリングは、約10km/h～約40km/hで走行中に、システムが歩行者側への車線逸脱と歩行者との衝突を予測したときに、ステアリング操作による回避を支援します。運転者のステアリング操作に代わるものではありません。運転者が加速やブレーキ操作、急なステアリング操作を行っているときシステムが判断した場合、また、ウインカーを作動させている場合には作動しません。 ■路外逸脱抑制機能は、約60km/h～約120km/hで走行中に、路外への逸脱またはシステムが路外への逸脱を予測したとき、作動します。運転者のステアリング操作に代わるものではありません。運転者が加速やブレーキ操作、急なステアリング操作を行っているときシステムが判断した場合、また、ウインカーを作動させている場合には作動しません。 ■渋滞追従機能付アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)は、0km/h以上で走行中に作動します。先行車に接近しすぎる場合には、ブレーキペダルを踏むなどして適切な車間距離を保ってください。急なカーブや加速・減速の繰り返しが少ない、高速道路や自動車専用道路を運転するときにご利用ください。 ■車線維持支援システム(LKAS)は、約65km/h以上で走行中に作動します。運転者のステアリング操作に代わるものではありません。運転者がステアリングから手を放した状態や、運転者が意図的に車線を越えるようなステアリング操作をしているときシステムが判断した場合、また、ウインカーを作動させている場合には作動しません。急なカーブや加速・減速の繰り返しが少ない、高速道路や自動車専用道路などを運転するときにご利用ください。 ■先行車発進お知らせ機能は、先行車との車間距離が約10m以内で、先行車の発進を検知しても自車が停止し続けたときに作動します。 ■標識認識機能は、最高速度、はみ出し通行禁止、一時停止、車両進入禁止の道路標識を認識し、ヘッドアップディスプレイとマルチインフォメーション・ディスプレイに表示します。一時停止、車両進入禁止は約60km/h以下で走行中に作動します。 ■オートハイビームは、約30km/h以上で走行中に作動します。ハイビームとロービームの自動切り替え制御には状況により限界があります。必要に応じて手動で切り替え操作を行ってください。

※ 2003年、世界初の「追突軽減ブレーキ」をインスパイアに搭載。技術名称を「衝突軽減ブレーキ」に変更し、Honda SENSINGの中核として搭載。

* 写真は機能説明のための合成イメージです。